

第一部 全体構想

第1章 策定にあたって

1 策定背景と目的

高島平地域は、昭和40年開始の土地区画整理事業を皮切りに、40年代後半から50年代前半にかけて多くの都市基盤施設が開設し、生活利便性の高い環境における大量の住宅供給や、生産・経済活動の下支えの拠点施設を兼ね備えた都市として生まれました。

現在、高島平地域のシンボルともいえる「高島平団地」が竣工して43年が経過し、当時の都市基盤施設が一様に老朽化するとともに、少子高齢・人口減少社会を肌で感じる時期を迎え、発生する新たな地域課題とともに、将来の課題も予測しながら、持続的発展を可能とする都市への転換が必要となってきています。

区では、高島平地域において、いたばし未来創造プラン(平成25年1月策定)(以下、「未来創造プラン」という。)に掲げる二つの都市像である『魅力創造発信都市』と『安心安全環境都市』の実現に向け、誰もが訪れてみたい、住みたい、住み続けたいと共感し、実際の行動(行動変容)につながる都市再生モデルとなる『高島平地域グランドデザイン』を策定し、平成28年度を初年度とする区の次期基本計画に反映することとしています。

策定にあたっては、「高島平地域 分析報告書(平成26年9月)」及び「高島平地域グランドデザイン検討状況の中間報告(平成26年11月)」を踏まえるとともに、「高島平地域グランドデザイン素案(平成27年1月)」を公表し、関係機関の意向や、区に寄せられる意見・要望を勘案して作成しています。

2 位置づけ・構成

各種行政計画や統計データから「高島平地域」の状況を再認識するとともに、地域課題や他都市の先進事例等から「多くの人を惹きつけ、時を過ごし、住みたい、働きたいまち」に向けた都市への転換や「暮らし続けるまち」に向けた都市の強化を行いながら、人の活動を第一義に考える「都市再生の方向性」を示すものです。

グランドデザインは、高島平地域全体の骨格となる「全体構想」と「旧高島第七小学校(以下、「旧高七小」という。)跡地を含む区有地の再整備基本計画」で構成されます。

都市基盤施設	: 道路・街路、鉄道、河川、上下水道、エネルギー供給施設、通信施設などの生活・産業基盤や学校、病院、公園などの公共施設
いたばし未来創造プラン	: 少子高齢・人口減少社会が進行する中で、生産年齢人口の減少による区政経営の様々な課題を克服し、区政の持続的発展を可能とするため、現基本計画(平成18年度～27年度)の最終3か年を締めくくる実施計画及び行財政改革計画であるとともに、次期基本計画へとつなげていく中長期的な総合計画である。
グランドデザイン	: 全体構想。板橋区では、「グランド」は、建物を含めた敷地空間だけでなく、そこに集う人々が活動し、関わり合う空間・雰囲気全てを意味する。「デザイン」は人々の意識に訴え、共感を呼び、行動につながる(人生設計にも影響を与える。)ことをめざす『デザイン化』を内容とする意味でとらえている。

3 策定対象範囲

原則として、高島平一丁目～九丁目（約 314ha）を対象範囲としますが、都市再生の方向性を考えるにあたり、必要に応じて、高島平地域の隣接地域の施設も対象とします。また、区立施設だけでなく、他の公共機関の施設や民間部門の大規模施設（住宅等を含む。）等も対象とします。

「公共用地の再整備基本計画想定地区」は原則として、下記の現存公共施設が集積する区有地約 2ha とします。

- ・ 旧高七小跡地
- ・ 高島平図書館
- ・ 高島平地域センター
- ・ 高島平児童館
- ・ 高島平健康福祉センター(隣接緑地を含む)
- ・ 高島平区民事務所
- ・ 高島平区民館
- ・ 旧高島平健康福祉センター



図：対象範囲